



# 六中だより

～自主・勤勉・共生～

6月号

No.3

令和元年6月20日発行

港区立六本木中学校

校長 石原 嘉人

## 獅子奮迅 ～REvolution Is WAnderful～

校長 石原 嘉人



6月16日(日)、第22回運動会を行いました。当日は、保護者406名、ご来賓65名、卒業生・地域関係者67名の方々に参観していただき、生徒たちの勇士をお見せすることができました。チェックしきれなかった方もいらっしゃると思いますので、全部で538名以上の方にご来校いただいたこととなります。この来校者数は私がこの学校に来てからの新記録かもしれません。たいへん多くのご参観、ありがとうございました。

今年度は、修学旅行や期末テストの関係で、梅雨の真っ只中のこの日しか運動会の日程が取れませんでした。練習も本番もある程度の雨は覚悟していたのですが、奇跡的に予定通り全ての練習を行うことができ、本番にいたっては夏を思わせる晴天に恵まれました。

6月3日からの2週間は運動会期間として、集中的に練習を行いました。六本木ヒルズにこだまするムカデの掛け声が校長室にも聞こえてくるこの時期は、私の大好きな時期の一つです。

どうなることかと思ったムカデリレーも当日は、まさに「獅子奮迅!」。とても見ごたえのあるレースで、鳥肌が立ちました。無事にレースを終えることができ、担任の先生が涙している姿は本校らしい光景です。

第22回運動会は、日本語と英語での選手宣誓で始まりました。さわやかな中にも力強い宣誓でした。宣誓を2か国語で行うのは初めて聞きましたが、本校にはぴったりの宣誓なのかもしれません。

昨年度から始まった応援合戦。応援団の生徒たちが集団を引っ張り、よくまとめてくれました。新たな伝統として定着していきそうな予感がします。生徒会長が閉会式で「私たち3年生にとって、最後の運動会だと思うと少しさびしい気がします。この伝統を後輩の皆さんが引き継いでいってくれると思うと少しうれしい気がします。」と話してくれました。この言葉に象徴されるように、3年生は本校のリーダーとして大活躍でした。競技に全力で取り組み、係活動をきちんとこなし、何よりも大きな声を出してクラス関係なく応援していたのが印象に残っています。応援団の取組も、応援団長はプレッシャーがあり大変だったと思いますが、よく集団をまとめ、引っ張ってくれました。感謝しています。

今、思い返すとこの運動会は3年生の活躍が目立った運動会でした。本気で走り、腹の底から大きな声を出し、係の仕事もしっかり行う3年生の姿は立派です。いつも言っていることですが、1年生よりも2年生が、2年生よりも3年生がしっかりしている学校はいい学校なのです。この六本木中学校、本当にいい学校です。校長として君たちを誇りに思います。開会式で少し触れたのですが、前日の大雨で、準備ができなかった分、教職員総出で、当日の早朝から準備にあたり、開始時刻に間に合わせることができました。生徒たちは、教職員が用意したステージで、最高のパフォーマンスを発揮してくれました。まさに、チーム六中の力を結集した運動会となりました。これからも、このチーム力をより一層強固なものとしていきたいと強く感じた運動会となりました。

## 「SNS 東京ルール」の改訂について

東京都は児童・生徒がいじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、平成 27 年 11 月に「SNS 東京ルール」を策定しました。

これを受けて、学校でも生徒会を中心に「学校ルール」を策定し、家庭でもルールを決めるよう啓発を行ってまいりました。

その結果、ルールを決めている家庭が増加し、トラブルや嫌な思いをする生徒は減少しましたが、インターネットの利用時間が長時間化する傾向がみられるようになってきました。

なんと、半数以上の児童・生徒が一日に 2 時間以上インターネットを利用しているという調査結果が出ています。

中学生のアプリ使用状況は YouTube:90.5%、LINE:80.7%、Twitter:32.5%、Instagram:27.1%となっています。情報を発信するアプリが普及し、YouTube をだらだら見てしまったり、LINE に縛られるような傾向が見て取れます。

大きな問題としては、自撮り被害に遭った児童・生徒が増加していることです。

本校においても、事あるごとに指導を繰り返してはいるのですが、LINE や Instagram を介したトラブルは頻繁に起きており、情報を発信するという怖さをしっかりと指導しなければならぬと考えております。



東京都のルール改定の背景と改定ルールは以下のとおりです。

☆ネットへの依存につながる長時間の利用を自分で防ぐ。

### 【背景】

ア 調査から、ネット利用の長時間化傾向がみられる。

イ ネットへの依存につながる長時間の利用を自律的に防ぐ。



① スマホやゲームの一日の合計利用時間、使わない時間帯・場所を決めよう。

☆ネット利用のための基本的なルールを徹底する。

### 【背景】

ア 動画の視聴など、スマホ等の機器を利用する場面が増えている。

イ ネット利用のための基本的なルールを徹底する。



② 必ずフィルタリングを付け、パスワードを設定しよう。

☆ネットを通して、他の人をいじめたり傷付いたりしない。

### 【背景】

ア 画像・動画などの情報を発信するアプリの利用が急増している。

イ ネットを通して、他の人をいじめたり傷付いたりしない。



③ 送信前には、誰が見るか、見た人がどのような気持ちになるか考えて読み返そう。

☆ネット犯罪に巻き込まれないよう、安易な発信をしない。

### 【背景】

ア 自撮り被害に遭った児童・生徒が増加している。

イ ネット犯罪に巻き込まれないよう、安易な発信をしない。



④ 個人情報を教えたり、知らない人と会ったり、自撮り画像を送ったりしない。

☆ネットに公開した情報は削除できないという危険性を理解する。

### 【背景】

ア 画像・動画などの情報を発信するアプリの利用が増加している。

イ ネットの公開した情報は削除できないという危険性を理解する。



⑤ 写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしない。